

# XBRLと企業分析

第一部 会計情報が表現するもの  
(会計ルールの変容)

第二部 会計情報の利用例  
(創造的会計の研究)

# DCFによる企業価値評価

	一般理論	その他	必要な知識
将来FCFの算定	<b>過去業績分析</b> フリーキャッシュフロー NOPLAT 運転資金増減 設備投資 減価償却 バリュードライバー ROIC	<b>継続モデル分析</b> 特殊要因排除 適正期間配分 運転資金分析 設備投資分析 <b>ビジネスモデル分析</b> 企業定性分析 経営者 企業DNA <b>ゼロ成長モデル</b>	<b>会計論</b> 財務会計 管理会計 戦略会計  <b>経営論</b> 経営分析
	<b>将来予測</b> 成長率		
割引現在価値の算定	<b>割引率の算定</b> WACC 資本構成 金利 限界税率 CAPM リスクフリーレート リスクプレミアム ベータ	<b>再投資</b> 配当性向 企業サイド ROIC 成長ステージ 投資家サイド 投資環境 市場環境	<b>経済学</b> <b>金融理論</b> <b>金融工学</b>  <b>その他</b>

会計は面白い

取得原価主義 ↔ 時価主義

収益費用中心観 ↔ 資産負債中心観

動態論 ↔ 静態論

フロー重視 ↔ ストック重視

**第一部 会計情報が表現するもの  
(会計ルールの変容)**

1997

連結財務諸表制度

1998

研究開発費に係る会計基準

1999

退職給付に係る会計基準

2000

税効果会計に係る会計基準

2001

金融商品に係る会計基準

2002

固定資産の減損に係る会計基準

2003

企業結合に係る会計基準

2004

株主資本変動計算書に関する会計基準

2005

棚卸資産の評価に関する会計基準

2006

リース取引に関する会計基準

2007

四半期財務諸表に関する会計基準

2008

資産除去債務に関する会計基準

2009

賃貸不動産の時価等の開示に関する会計基準

2010

持分法に関する会計基準

2011

工事契約に関する会計基準

2012

リース取引に関する会計基準

四半期財務諸表に関する会計基準

資産除去債務に関する会計基準

賃貸不動産の時価等の開示に関する会計基準

持分法に関する会計基準

工事契約に関する会計基準

リース取引に関する会計基準

四半期財務諸表に関する会計基準

資産除去債務に関する会計基準

賃貸不動産の時価等の開示に関する会計基準

持分法に関する会計基準

工事契約に関する会計基準

リース取引に関する会計基準

四半期財務諸表に関する会計基準

資産除去債務に関する会計基準

賃貸不動産の時価等の開示に関する会計基準

持分法に関する会計基準

工事契約に関する会計基準

リース取引に関する会計基準

四半期財務諸表に関する会計基準

資産除去債務に関する会計基準

アドプションの判断?

コンバージョン完了

XBRL開始

東京合意

概念フレームワーク

時価会計導入

会計ビッグバン

## 会計の変容

時代

～14世紀

主目的  
(力点)

資産負債の記録  
(記録)

損益計算

資産の増減

測定基準

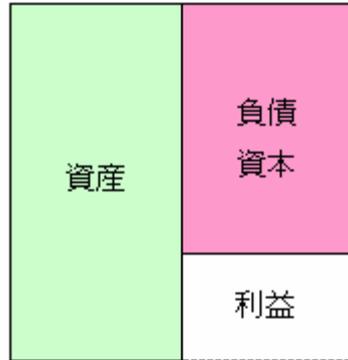
取得原価

会計観

ストック重視  
資産負債観  
静態論  
短期思考

# 会計の変容（概念図）

## 利益処分結合財産目録



---

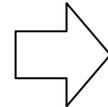
資産負債の記録  
(荷口別損益計算)

# 会計の変容

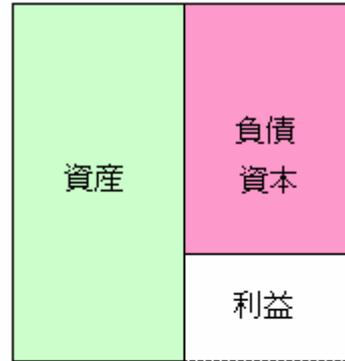
時代	～14世紀	14～20世紀
主目的 (力点)	資産負債の記録 (記録)	期間損益計算 (計算)
損益計算	資産の増減	集合損益勘定
測定基準	取得原価	取得原価
会計観	ストック重視 資産負債観 静態論 短期思考	フロー重視 収益費用観 動態論 長期思考

# 会計の変容（概念図）

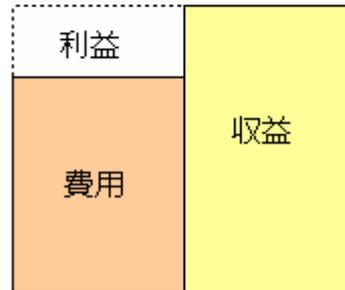
利益処分結合財産目録



利益処分結合財産目録



一致しなかった



集合損益勘定による証明

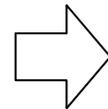
---

資産負債の記録  
(荷口別損益計算)

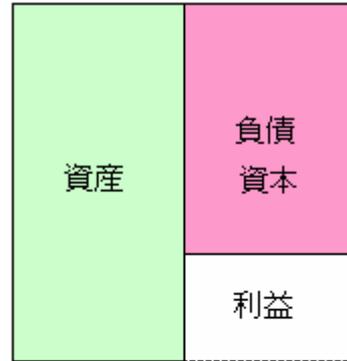
期間損益計算  
(非定期的 ⇒ 定期的)

# 会計の変容（概念図）

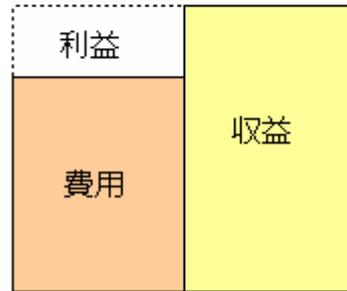
利益処分結合財産目録



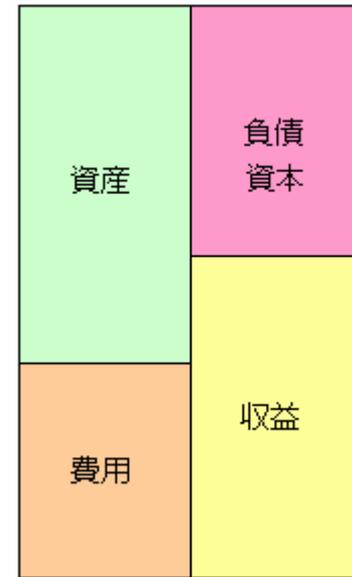
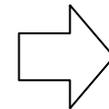
利益処分結合財産目録



一致しなかった



集合損益勘定による証明



複式簿記の完成

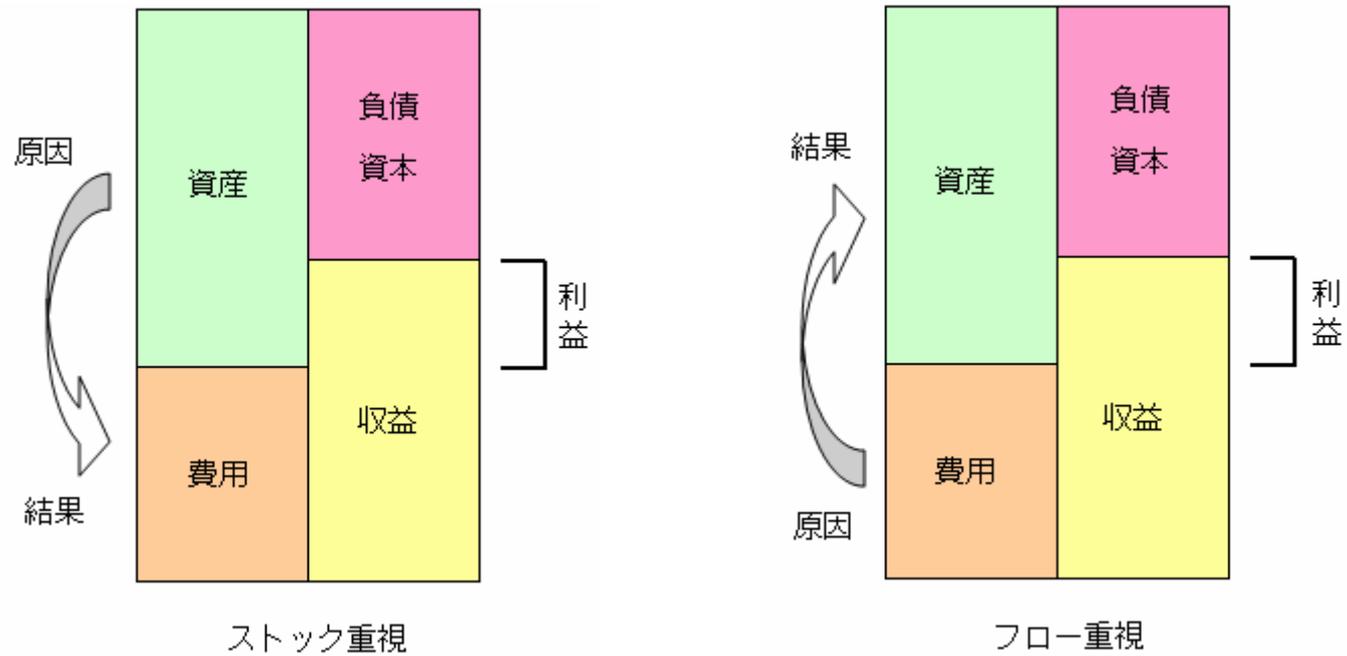
利益の一致

資産負債の記録  
(荷口別損益計算)

期間損益計算  
(非定期的 ⇒ 定期的)

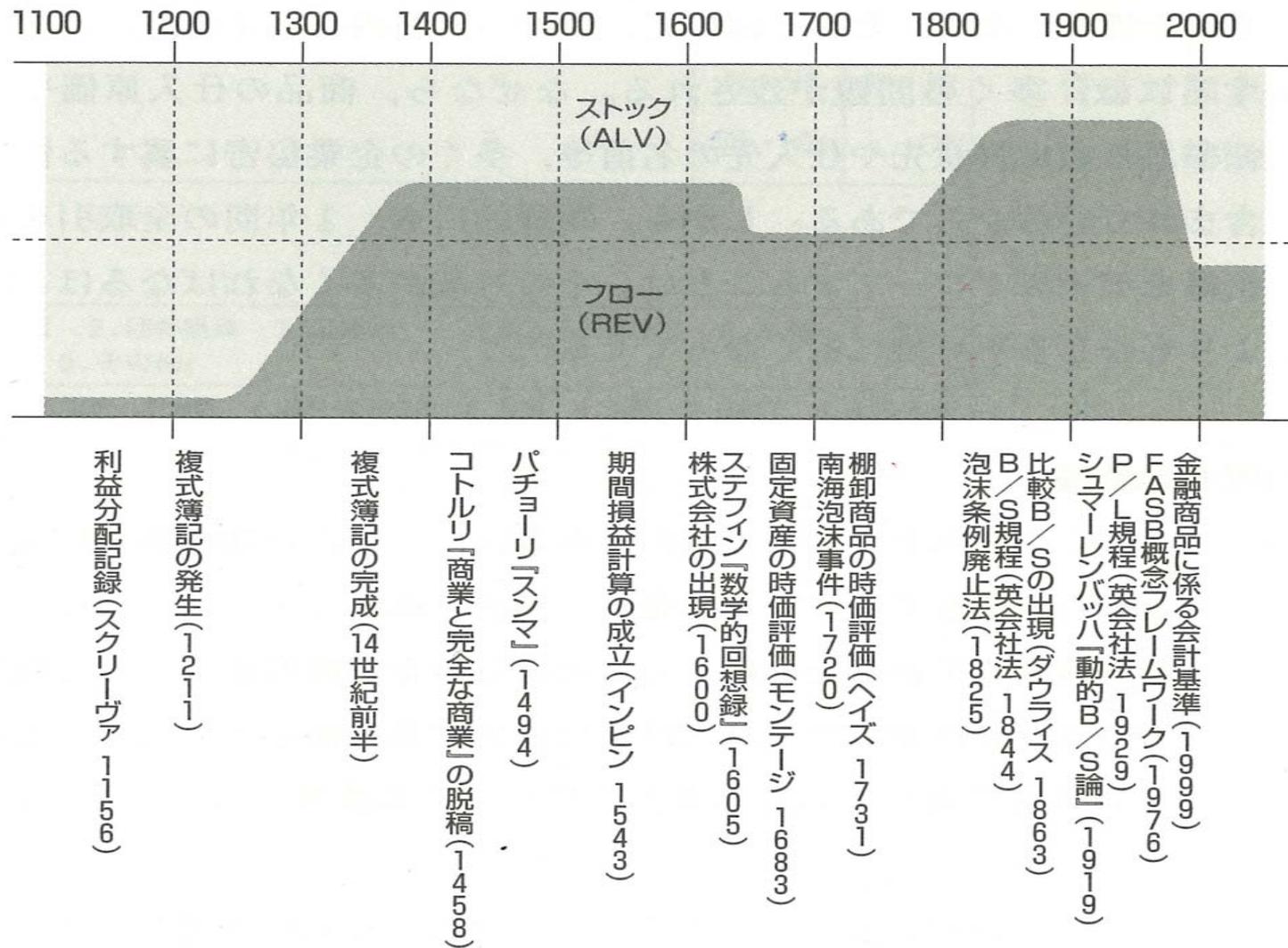
期間損益計算

# 会計の変容（概念図）

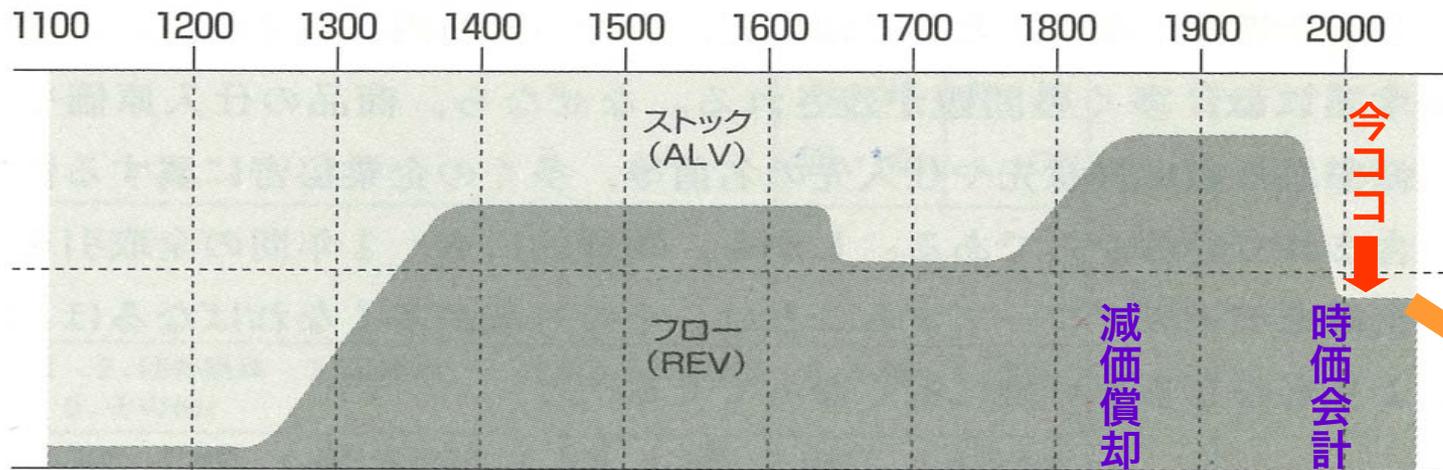


ストック重視かフロー重視か？

# ストック重視とフロー重視の会計観の史的変遷



# ストック重視とフロー重視の会計観の史的変遷



利益分配記録(スクリーヴァ 1156)

複式簿記の発生(1211)

複式簿記の完成(14世紀前半)

コトルリ『商業と完全な商業』の脱稿(1458)

パチョーリ『スマ』(1494)

期間損益計算の成立(インピン 1543)

ステフィン『数学的回想録』(1605)  
株式会社の出現(1600)

固定資産の時価評価(モンテージ 1683)

南海泡沫事件(1720)

棚卸商品の時価評価(ヘイス 1731)

**産業革命 (工業化)**  
**大資本化 (鉄道等)**

**金融資本主義**

今ココ

時価会計

減価償却

# 時価とは

時価＝公正価値 (Fair Value)

## 企業会計基準委員会の定義

時価とは「公正な評価額をいい、市場において形成されている取引価格、気配又は指標その他の相場（以下「市場価格」という。）に基づく価額をいう。市場価格がない場合には合理的に算定された価額を公正な評価額とする」

金融商品会計基準第6項

# 時価

## ① 市場価格

(金融資産の取引が活発に行なわれている市場における市場価格は、当該金融資産の公正な評価額を示していると考えられる事による。) ⇒ 効率的市場仮説

② 「取引所等から公表されている類似の金融資産の市場価格に、利子率、満期日、信用リスク及びその他の変動要因を調整する方法」により算定された価額

③ 「対象金融資産から発生する将来キャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定する方法」によって算定された価額

④ 一般に広く普及している理論値モデル又はプライシング・モデル（例えば、ブラック・ショールズ・モデル、二項モデル等のオプション価格モデル）を使用する方法により算定された価額

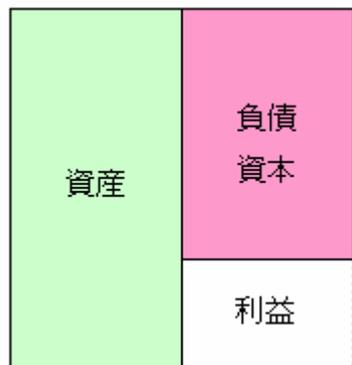
金融資産の時価の算定に関する実務上の取り扱い（案）より

⇒ 全て金融工学の論理

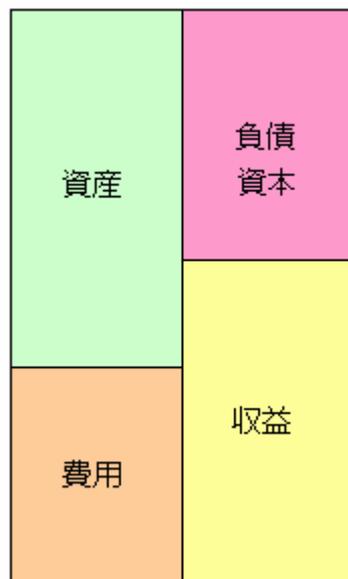
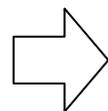
# 会計の変容

時代	～14世紀	14～20世紀	20世紀～
主目的 (力点)	資産負債の記録 (記録)	期間損益計算 (計算)	公正価値計算 (予測)
損益計算	資産の増減	集合損益勘定	公正価値の増減
測定基準	取得原価	取得原価	時価
会計観	ストック重視 資産負債観 静態論 短期思考	フロー重視 収益費用観 動態論 長期思考	企業価値重視 投資の集合体 市場原理主義 リアルタイム思考

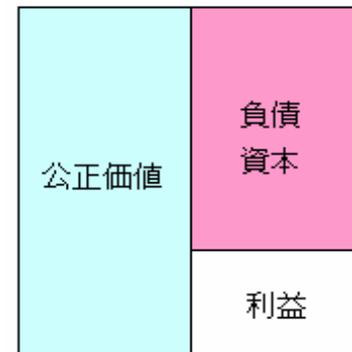
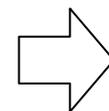
# イメージ図



資産負債の記録



期間損益計算



公正価値計算

時価会計への流れ

||

金融工学による会計の変革

⇓

パラダイムシフト

## 日本の現況

先を行く米国 FAS157

企業会計原則の効力

概念フレームワーク

包括利益への抵抗



かなり葛藤中

# 会計の未来

## ① あらゆる情報のオンバランス化

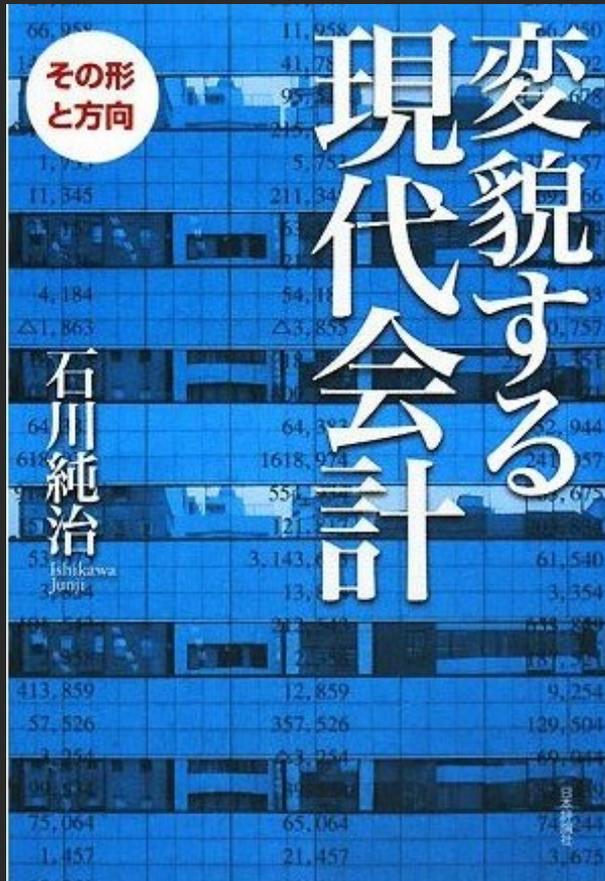
- ・ 注記情報のオンバランス化
- ・ 戦争、テロなどのニュース情報もオンバランス化

## ② リアルタイム開示

- ・ 決算の消滅
- ・ 日々刻々と変わる株価・金利・為替情報など自動的に反映
- ・ ニュース情報による予測の変更もリアルタイムに反映
- ・ 監査もリアルタイムモニタリング

**XBRLはツールというよりインフラ**

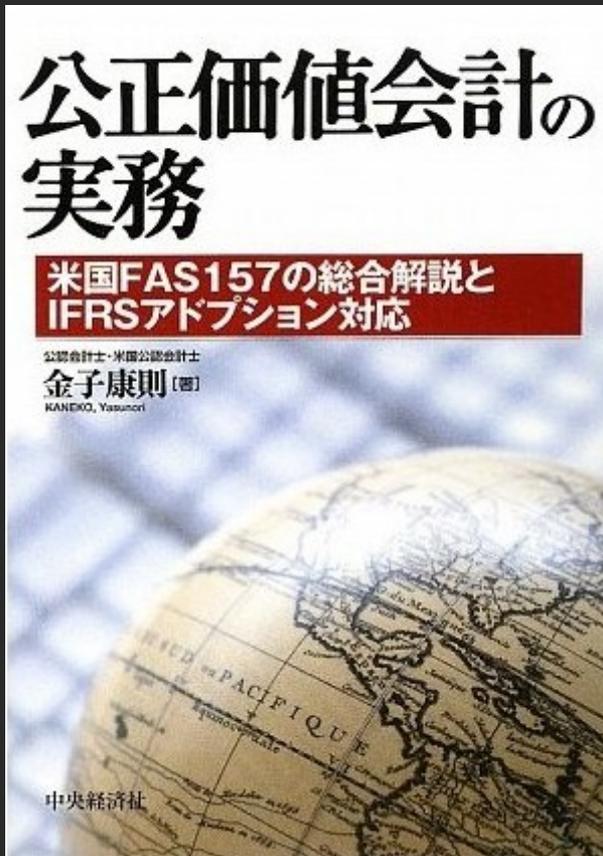
## 参考文献



『変貌する現代会計』

石川純治（著）

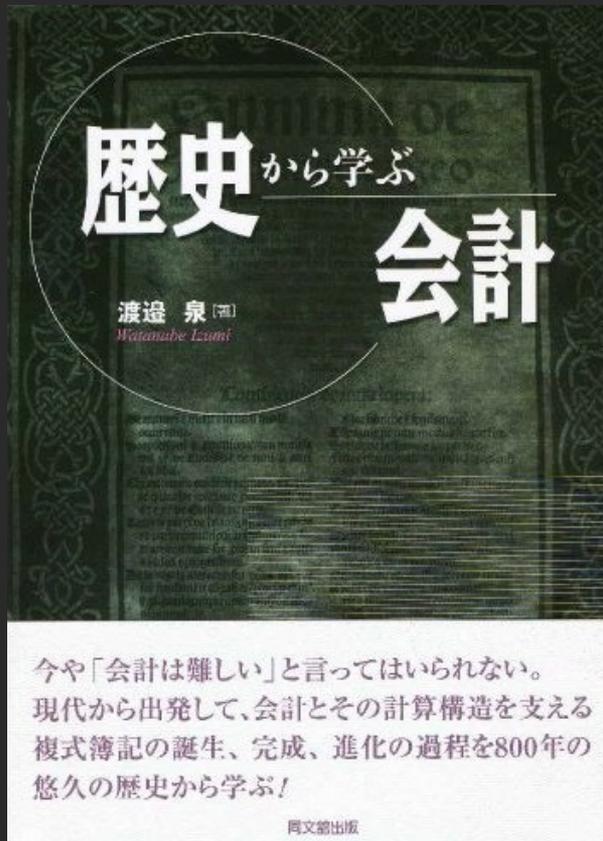
## 参考文献



『公正価値会計の実務』

金子康則（著）

## 参考文献



## 『歴史から学ぶ会計』

渡邊 泉 (著)

今や「会計は難しい」と言ってはられない。  
現代から出発して、会計とその計算構造を支える  
複式簿記の誕生、完成、進化の過程を800年の  
悠久の歴史から学ぶ!

同文館出版

# 第一部 おわり

ご清聴ありがとうございました